



●1面1線の単式ホーム。現在は無人駅となっている。



●移設された山方商高のブロンズ像 ●美しく整備されたロータリー

JR水郡線野上原駅は昭和31年の開業。水郡線の県内区間では中舟生駅と並んで最も新しい駅だ。小さな駅だが駅前にはロータリーがあるなど、美しく整備されている。昭和45年には駅北側に県立山方商業高校が開校し、平成24年に県立常陸大宮高校に統合されるまで、駅周辺は高校生でにぎわった。学校跡地は太陽光発電所となったが、創立20周年を記念して作られたブロンズ像「未来への光」が駅前に移設され、往事の面影を残している。

駅周辺は鉄道と国道118号、久慈川が出会う場所。平成28年には「道の駅常陸大宮かわプラザ」がオープンし、地元の特産品がズラリと並び、連日にぎわっている。

桜の名所・辰ノ口親水公園にも近い。開花時期には祭りが催される。堤防の桜堤には1キロメートル以上にわたって行灯が飾り付けられ、幻想的な桜も楽しめる。

Vol.84

駅からのふるさと紀行 JR水郡線

の がみ はら

野上原駅

← たま がわ むら | やま が た じ ゅ く →

玉川村 | 山方宿

●次回は4月28日 ※イラストはイメージです。
「戸頭駅」を掲載予定です。

第10回辰ノ口桜祭り
4月1日(月)～4月7日(日)

日没後から午後8時半頃まで堤防の桜をライトアップ(写真)。4月6日には花火大会(午後7時から30分程度)など、各種イベントが開催される。【画像提供:常陸大宮市】

いぎいき茨城ゆめ国体2019
を応援しております。

働く人と、世界を走る。

ISUZU

茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(代)
<https://www.ibaraki-isuzu.co.jp>

●久慈川
八瀧山を水源とする久慈川。かわプラザや辰ノ口江堰の辺りは、大きく蛇行している。河岸段丘の地形となっており、天然アユが遡上する。アユ解禁日には太公望でにぎわう。

●道の駅常陸大宮かわプラザ
平成28年3月のオープン以来、常陸大宮市の魅力や情報を発信。農園や公園、パークビュー施設、イベント広場などがあり、久慈川の川辺まで散策することもできる。

●辰ノ口江堰
耕地に水を引き水田の面積を拡大するため、江戸時代(1650年)に、徳川頼房公の命を受けた鉱山技術者・永田茂衛門らの努力によって築かれた。当時の堰は石を詰めた竹蛇籠で川を堰き止めたという。

●辰ノ口親水公園
自然観察路や遊具がいっぱいのトリム広場、BMXコース(自転車貸出あり)などがある。桜の名所であるとともに、アジサイの名所。利用時間は9時～17時。【画像提供:常陸大宮市】

●桜堤
辰ノ口橋から辰ノ口親水公園まで約1300mに約140本の桜が植えられている。さくら祭り期間中にはライトアップされ、幻想的な風景が楽しめる。【画像提供:常陸大宮市】

●北原遺跡
古墳時代～平安時代と推測される108の住居跡。国内初となるオピヤステの圧痕がある土器なども見つかった。出土品の一部はかわプラザに展示されている。【画像提供:常陸大宮市】

ふるさと紀行 周辺マップ

● 散策コース ●

まずは南下して人気スポットの「道の駅常陸大宮かわプラザ」を目指す。国道118号からの入口付近には遺跡があり、かわプラザオープン前の平成25年、27年に調査が行われた。かわプラザには地域の特産品がズラリ。ネギやシイタケ、ナスなどの特産品をはじめ、舟納豆、えごま、瑞穂牛、アユ、常陸大黒など、周辺地域の豊かな農産物が並び、時間が経つのを忘れてしまう。フードコーナーで食事ができるほか、鮎の塩焼きや瑞穂牛メンチカツ、えごまジェラート、グリーンスムージーなど気軽に食べられるものが多いのもいい。

かわプラザを満喫したら、辰ノ口親水公園を目指す。久慈川に架かる辰ノ口橋を越えれば、桜堤が見えてくる。桜の開花時期は久慈川堤防に菜の花も咲き誇っているのでコントラストを楽しもう。桜堤を歩いて行くと辰ノ口親水公園にたどり着く。久慈川の清流と豊かな自然を体験できる大規模な公園で、展望台からの眺めは絶景。園内の「ふるさと館」には「さけ展示館」が併設されており、久慈川に住む淡水魚が展示されている。上流には水戸藩が江戸時代のはじめに設置した三大江堰のひとつ、辰ノ口江堰がある。現在の堰は昭和56年に完成したものだ。

●お問い合わせ / 常陸大宮市産業観光部商工観光課 ☎0295(52)1111(代) ●企画・制作 / 読売茨城広告社 ☎029(244)5555

地元特産品の瑞穂牛 【画像提供:常陸大宮市】